東京都、不妊治療助成の申請倍増 給付決定に4カ月超も

#健康・医療 #東京 #子育て

2022/5/12 2:00 [有料会員限定]

東京都で不妊治療費助成の申請が急増している。国が不妊治療費助成の所得制限の撤廃や助成額の引き上げなどを実施したためとみられ、2021年度に受け付けた申請件数は前年度の2倍に膨らんだ。不妊治療は4月から保険適用となったが、経過措置で助成対象となるケースもある。都は臨時職員も採用して審査にあたっている。

国は22年4月からの保険適用に先立ち、21年1月に不妊治療費助成の所得制限を撤廃し、助成額と助成回数も引き上げた。効果は大きく、都が21年度に受け付けた申請件数は約4万件と20年度から2倍に増えた。都福祉保健局は「経済的負担の大きさから不妊治療をためらっていたカップルが踏み切るケースが多いのではないか」とみる。

助成に当たっては申請書類の確認やデータ入力が欠かせず、申請から給付決定までに4カ月以上かかる状態が続いている。年度をまたいで治療している場合、経過措置として23年3月末までに終了した治療は助成対象となる。都は臨時職員を採用するなどして審査のスピードアップを図っている。